



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月7日

上場会社名 株式会社ニチイ学館 上場取引所 東
 コード番号 9792 URL http://www.nichiigakkan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 信介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長代理 (氏名) 椎谷 和也 TEL 03-3291-2121
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	142,596	0.8	4,154	10.7	1,947	7.2	251	△72.6
2018年3月期第2四半期	141,426	2.7	3,753	360.4	1,815	—	918	—

（注）包括利益 2019年3月期第2四半期 311百万円（△61.0%） 2018年3月期第2四半期 799百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	3.92	3.91
2018年3月期第2四半期	14.32	14.29

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	192,583	37,316	18.8
2018年3月期	190,239	37,656	19.1

（参考）自己資本 2019年3月期第2四半期 36,153百万円 2018年3月期 36,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2019年3月期	—	15.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	293,500	3.4	14,700	92.7	9,600	164.6	5,100	496.9	79.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	73,017,952株	2018年3月期	73,017,952株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	8,670,871株	2018年3月期	8,825,572株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	64,237,050株	2018年3月期2Q	64,193,111株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、中期経営計画「VISION 2025」(2019年3月期から2025年3月期まで)における基盤固めに向けて、トップラインの伸長、安定的な利益の確保を目指し、営業推進体制の抜本的な見直しをはじめとする組織改革、人材基盤の強化等、事業体質の強化を更に推し進めてまいりました。

経営成績につきましては、企業主導型保育所を中心に拠点を拡大した保育事業および、介護事業、ヘルスケア事業が売上に貢献し増収となりました。利益については有料老人ホームや保育施設の稼動向上に加え、労働生産性の向上や業務効率化等によるコストマネジメントが奏功し、営業利益、経常利益ともに増益となりましたが、グローバル事業におけるグループ再編を進める中で中国現地の地域事業会社等15社との合弁解消による関係会社売却損益の発生等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は142,596百万円(前年同期は141,426百万円)、営業利益は4,154百万円(前年同期は3,753百万円)、経常利益は1,947百万円(前年同期は1,815百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は251百万円(前年同期は918百万円)となりました。

(セグメント別の経営成績)

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

2019年3月期より、報告セグメントの区分を変更し、中国事業および海外におけるサービスを各部門から移管し「グローバル部門」としてセグメント表示しております。また、ヘルスケア商品販売を「ヘルスケア部門」から「介護部門」へ移管しております。なお、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<医療関連部門>

売上高53,667百万円(前年同期53,671百万円) 営業利益4,448百万円(前年同期4,522百万円)

サービス供給力強化による持続的成長を目的に、無期雇用化をはじめとする現場スタッフの雇用安定化など人材基盤の強化に引き続き取り組んでまいりました。また、生産性とクオリティの向上に注力する一方、粘り強い契約適正化交渉、医師の働き方改革を見据えた医師事務作業補助業務を中心とする高付加価値サービスの期中契約の獲得を推進した結果、病院部門の売上は改善いたしましたが、診療所部門の契約数が弱含んで推移したことにより、減収・減益となりました。

<介護部門>

売上高75,509百万円(前年同期75,382百万円) 営業利益8,019百万円(前年同期7,509百万円)

介護部門においては、介護人材の確保・定着および中重度対応強化を重点施策と位置づけ推進しております。

在宅系介護サービスは、訪問介護の介護給付対象利用者数が前期比で回復基調にあり、利用単価も中重度利用者割合の増加により上昇、居住系介護サービスでは利用者数が順調に推移し増収となりました。利益については、介護スタッフ1人あたりの稼働性を高めるなど生産性の向上、運営の効率化に注力したことや、有料老人ホームの稼働率が高水準を維持したことにより増益となりました。

<保育部門>

売上高5,433百万円(前年同期3,922百万円) 営業損失477百万円(前年同期は営業損失728百万円)

各地域における保育ニーズおよび女性活躍推進に貢献するべく、待機児童の解消を目的として制度化された「企業主導型保育所」を積極的に設置してまいりました。認可保育園等その他保育関連施設と合わせて上期45カ所を新たに開設し全国247カ所での展開となりました。

売上高は、拠点数の拡大によって前年同期と比べ38.5%伸長し増収、利益においては各地域において企業主導型保育所の認知向上、法人利用契約の獲得を進めた結果、保育施設の稼動が向上し、当第2四半期(7~9月)は前年同四半期と比べ、損失幅が53.6%(84百万円)縮小しております。

<ヘルスケア部門>

売上高779百万円(前年同期674百万円) 営業損失309百万円(前年同期は営業利益36百万円)

少子高齢化や女性就労の増加等による家事代行の需要増を追い風に、家事代行サービス「ニチイライフ」および、国家戦略特区内における家事支援外国人受入事業「サニーメイドサービス」の積極的な展開、顧客獲得に向けた営業強化を実行してまいりました。これにより売上高は、前年同期比15.7%伸長し、779百万円となりました。

利益につきましては、「サニーメイドサービス」の関西圏における展開準備および、外国人スタッフの受入れに係る先行費用により営業損失となりました。

<教育部門>

売上高5,926百万円(前年同期5,959百万円) 営業損失2,041百万円(前年同期は営業損失2,043百万円)

本年4月より大人向けサービスを「GABAマンツーマン英会話」、子ども向けは「COCO塾ジュニア」の2つのブランドに統合・並立し、教育事業の構造改革を進めてまいりました。

イベント・キャンペーンをはじめとする各種プロモーション展開、法人営業活動を強化するなど新規顧客の獲得に努めてまいりましたが、GABA-COCO塾ジュニア間の協働オペレーションによる運営効率化など、構造改革の遅れにより減収、営業損失となりました。

<セラピー部門>

売上高182百万円(前年同期92百万円) 営業損失288百万円(前年同期は営業損失175百万円)

犬との暮らしを生涯にわたりサポートするペットサロン「A-LOVE」は、2018年9月末現在全国で21サロンを展開しております。インスタグラムをはじめ、SNSやWebを活用したキャンペーンや、イベントの実施に加え、カウンセリングの強化や一部店舗におけるカラーリングサービスの開始など顧客獲得に注力いたしました。その結果、売上は増収となりましたが、サロン開設をはじめとする先行投資により営業損失となりました。

<グローバル部門>

売上高966百万円(前年同期1,644百万円) 営業損失694百万円(前年同期は営業損失885百万円)

グローバル部門の軸となる中国事業においては、「日医ブランド」にて、中国現地でのサービス基盤の構築、介護研修・セミナー販売による日本式介護の啓蒙・普及活動に引き続き注力してまいりました。

本年7月には中国における介護複合拠点構築プロジェクトが経済産業省の「国際ヘルスケア拠点構築促進事業」に採択され、介護複合拠点の設置に向けた取り組みを行うこととなりました。本取り組みは、中国における介護施設運営に今後寄与していくものです。

不採算合弁会社の合弁解消をはじめ、中国現地の地域事業会社の再編・整理による効率的運営を推進した結果売上高については減収となりましたが、利益については赤字幅が縮小いたしました。

<その他>

売上高130百万円(前年同期80百万円) 営業利益126百万円(前年同期96百万円)

物品管理・配送、情報処理、リース等の事業を通じ、当社グループの各主力事業における円滑な事業運営のサポートを行うことで間接業務の効率化を図ってまいりました。

売上高においては、50百万円の増収、営業利益においては、29百万円の増益となりました。

[(ご参考)個別経営成績]

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) (百万円)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) (百万円)	前年同期比 増減率(%)
売上高	121,644	122,599	0.8
営業利益	3,023	4,020	33.0
経常利益	2,678	3,429	28.0
当期純利益	1,925	2,051	6.5

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,343百万円増加し、192,583百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加などにより流動資産が3,299百万円増加し、のれんの減少などにより固定資産が955百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,682百万円増加し、155,266百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少などにより流動負債が1,731百万円減少し、リース債務の増加などにより固定負債が4,414百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ339百万円減少し、37,316百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表した当連結会計年度の業績予想について、第2四半期までの進捗を踏まえ、以下のとおり修正いたします。

売上高につきましては、主力事業の供給力強化や語学(教育)事業の構造改革の遅れ等による上期業績を鑑み、通期連結業績予想を修正いたします。引き続き、トップライン伸長の実現に向けた各種施策の遂行に注力してまいります。

営業利益につきましては、当第2四半期において主力事業の事業基盤構築、コストマネジメント等の各施策に一定の効果が見られたことから、前回公表数値を据え置いております。

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、下期において、COCO塾ジュニアにて展開しております小規模教室(サテライト教室)の閉鎖や、介護拠点(デイサービスセンター)の改修、中国(グローバル)事業の再編(合併解消)費用等の発生を見込み、通期連結業績予想を修正いたします。

(連結業績予想)

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	314,500	14,700	10,500	6,300	98.14
今回修正予想(B)	293,500	14,700	9,600	5,100	79.39
増減額(B-A)	△21,000	—	△900	△1,200	
増減率(%)	△6.7	—	△8.6	△19.0	
(ご参考) 前期通期実績 (2018年3月期)	283,767	7,630	3,628	854	13.31

(個別業績予想)

2019年3月期通期個別業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	268,700	12,100	10,800	7,600	118.39
今回修正予想(B)	251,300	12,100	10,300	6,900	107.41
増減額(B-A)	△17,400	—	△500	△700	
増減率(%)	△6.5	—	△4.6	△9.2	
(ご参考) 前期通期実績 (2018年3月期)	243,588	6,241	4,939	3,300	51.41

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,447,925	20,546,254
受取手形及び売掛金	33,072,792	33,261,017
有価証券	—	189,544
商品及び製品	890,572	738,385
仕掛品	6,859	32,433
原材料及び貯蔵品	222,620	229,073
その他	12,639,841	13,582,370
貸倒引当金	△31,360	△30,475
流動資産合計	65,249,251	68,548,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,260,337	21,719,236
リース資産(純額)	47,283,743	49,125,561
その他(純額)	10,230,927	9,642,037
有形固定資産合計	79,775,008	80,486,835
無形固定資産		
のれん	11,424,497	10,273,165
その他	5,592,039	5,190,183
無形固定資産合計	17,016,537	15,463,349
投資その他の資産		
その他	28,464,166	28,340,446
貸倒引当金	△265,077	△255,921
投資その他の資産合計	28,199,088	28,084,524
固定資産合計	124,990,634	124,034,709
資産合計	190,239,886	192,583,314
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,170,987	757,864
短期借入金	5,336,220	1,168,927
未払法人税等	2,563,388	2,709,877
未払費用	17,836,819	18,361,023
賞与引当金	5,611,659	6,385,042
役員賞与引当金	38,000	22,550
その他	27,902,439	29,322,603
流動負債合計	60,459,515	58,727,888
固定負債		
長期借入金	22,007,024	23,472,008
リース債務	53,596,996	55,947,469
退職給付に係る負債	7,524,273	7,689,944
資産除去債務	2,446,418	2,467,919
その他	6,549,487	6,961,102
固定負債合計	92,124,200	96,538,444
負債合計	152,583,715	155,266,333

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,933,790	11,933,790
資本剰余金	17,026,495	16,995,080
利益剰余金	19,636,670	19,088,989
自己株式	△11,376,709	△11,177,243
株主資本合計	37,220,245	36,840,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,091	19,570
為替換算調整勘定	△366,488	△294,095
退職給付に係る調整累計額	△509,191	△412,616
その他の包括利益累計額合計	△856,588	△687,141
新株予約権	560,694	582,969
非支配株主持分	731,819	580,535
純資産合計	37,656,170	37,316,981
負債純資産合計	190,239,886	192,583,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	141,426,981	142,596,669
売上原価	113,946,536	114,557,464
売上総利益	27,480,445	28,039,205
販売費及び一般管理費	23,726,633	23,884,305
営業利益	3,753,812	4,154,899
営業外収益		
受取利息	76,259	72,458
受取賃貸収入	116,923	104,663
補助金収入	32,149	19,790
持分法による投資利益	30,542	24,133
その他	263,938	205,288
営業外収益合計	519,812	426,334
営業外費用		
支払利息	2,305,801	2,416,896
賃貸費用	18,208	13,121
その他	133,667	203,666
営業外費用合計	2,457,678	2,633,685
経常利益	1,815,946	1,947,548
特別利益		
関係会社出資金売却益	—	128,950
新株予約権戻入益	5,310	1,691
その他	—	535
特別利益合計	5,310	131,177
特別損失		
固定資産除却損	4,516	3,532
投資有価証券売却損	—	149,705
関係会社出資金売却損	—	305,191
その他	759	620
特別損失合計	5,275	459,049
税金等調整前四半期純利益	1,815,982	1,619,676
法人税、住民税及び事業税	1,829,910	1,890,419
法人税等調整額	△810,914	△501,716
法人税等合計	1,018,995	1,388,703
四半期純利益	796,986	230,973
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△122,000	△20,790
親会社株主に帰属する四半期純利益	918,987	251,764

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	796,986	230,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248	481
為替換算調整勘定	△99,747	△16,439
退職給付に係る調整額	102,013	96,574
その他の包括利益合計	2,514	80,616
四半期包括利益	799,500	311,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	929,172	343,700
非支配株主に係る四半期包括利益	△129,672	△32,109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。